

### Ⅲ 川崎市アートセンター事業（指定管理者事業）

#### 1 芸術文化事業

平成 19 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの川崎市アートセンターの管理運営を指定管理者として「川崎市文化財団グループ」が受託し、4 年次目となる平成 22 年度の事業を次のとおり実施いたしました。

今年度は、3 月 11 日の東北太平洋沖大地震及びそれに伴う計画停電などの関係で主催・提携事業の上演中止、貸館事業の中止、上映事業の休映・縮小などがありました。

なお、受託した川崎市文化財団グループは、当財団と特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパンの二者で構成しています。

○小劇場及び映像ホール \* ( ) は平成 21 年度

項目	アルテリオ小劇場	アルテリオ映像館
開館日数	359 日	
メンテナンス日数	14 日	
利用可能日数	345 日 (346 日)	
利用日数 (稽古日数を含む)	243 日 (293 日)	308 日 (309 日)
日数利用率	70.4% (84.7%)	89.3% (89.3%)
公演・上映等回数	131 回 (140 回)	1,344 回 (1,473 回)
	主催公演	60 回 (48 回)
	共催公演	12 回 (38 回)
	提携公演	10 回 (12 回)
	貸 館	49 回 (42 回)
		22 回 (2 回)
入場者数	11,405 人 (14,737 人)	35,088 人 (35,903 人)

○その他の施設 \* ( ) は平成 21 年度

	楽屋	映像編集室	録音室	工房	研修室
メンテナンス日数	14 日				
利用可能日数	345 日 (346 日)				
利用日数	226 日	68 日	143 日	234 日	216 日
日数利用率	65.5%	19.7%	41.4%	67.8%	62.6%

(83.2%) (22.0%) (37.9%) (65.3%) (70.2%)

#### (1) 舞台芸術等文化振興事業(アルテリオ小劇場)

(詳細は別紙 1 をご参照ください。)

## ① 主催事業

指定管理者として主催事業を14事業、45公演実施しました。主なものとしましては、

- ・川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）事業として、「ホナガヨウコ企画」、「こどもと大人とアーティストがつくる舞台」、「明日の巨匠たち2010」。

- ・アートセンターとアル☆カンパニーとのコラボレーション企画として第4弾「家の内臓」、第5弾「冬の旅」。

- ・文化庁の「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」として、アルテリオ・ラジオドラマセッション第2弾「森 鷗外2作品」、第3弾「島村抱月3作品」のネット配信、「忠臣蔵フェア」の4日間公演、こどもに見せたい舞台 in しんゆりがおか 「ドリトル先生と動物たち」の6回公演。

- ・海外招聘公演として、アルカサバ・シアターの「アライブ・フロム・パレスチナ」。

- ・超振付家シリーズとして、川口隆夫「TABLE MIND」公演（設定席数65）。

## ② 共催事業

- ・クリエイション・サポート事業を中心に5事業、12公演実施しました。

「F I C T I O N」、「テニスコート」、「キリコラージュ」、「木野彩子」公演のほか、神奈川県私立中・高等学校演劇発表会。

## ③ 提携事業

地域連携やアーティスト育成の一環として4事業、10公演実施しました。

「畠山美由紀」、「OPEN SESAME」、「F I C T I O N 3 2」など。なお、3月に実施予定の1事業3公演が東日本大震災の影響から公演中止となりました。

## ④ ワークショップ等事業

地域の子どもたちや若年層、また教育・保育現場の先生などを対象にワークショップなどを9事業15回実施しました。

「演技しない演技のワークショップ」、「カフェ・アルテ事業」、「クラウンのコミュニケーションスキルのひみつ」など。なお、3月に実施予定の1事業4公演を東日本大震災の影響から中止しました。

## ⑤ クリエイション・サポート事業

若手アーティストの育成を目的とした事業で、4団体が継続または単年度事業として実施しました。

## ⑥貸館

市民及び一般の劇団や文化芸術活動等の利用が30団体、49回ありました。

## (2)映画、映像文化振興事業(アルテリオ映像館)

(詳細は別紙2をご参照ください。)

### ①「アルテリオ・シネマ」映画上映事業

・映画館上映として、新作・名画を併せて113作品を年間308日間、合計1,303回上映、33,694人のお客様に鑑賞いただきました。

22年度は、第2回川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ・しんゆり)が開催され、アルテリオ・シネマでは、「にんげんを撮る、地域をみつめる」と題して、今村昌平監督作品を中心にアルテリッカ特集として5月1日から5月9日まで上映しました。

・上映支援等として、関係者試写、マスコミ試写、書店試写及び団体鑑賞などを計15回行い、498人の来場があり、上映予定の映画の広報宣伝に役立てました。

・企画特集上映として、「ジャック・ロジエのヴァカンス」、「新世代短編セレクション ndjc2008,2009」、「優秀映画鑑賞推進事業 喜劇昭和名作シネマ」、「アルテリオ・シネマ3周年記念リクエストセレクション」を実施しました。

また、新年にあたり「シネマ歌舞伎」を上映しました。

・東北太平洋沖大地震の発生による上映中止、また東日本大震災の影響などから臨時休映、最終回の休映などの対応をとりました。

### ②ワークショップ事業

・夏休みに、「だれでもできる映画ワークショップ」を2日間1講座実施し21人参加。「アニメーション教室」を2日間4講座実施し計126人参加しました。

・春休みに、「だれでもできる映画ワークショップ」を3日間、「アニメ・幻灯機1日教室」を計画していましたが、東日本大震災の関係で中止としました。

### ③トーク等開催事業

・上映映画に関連し、出演者、監督、映画評論家ほか様々な方をお招きし、ゲストトーク、解説、ティーチイン、講座を合計43回開催し、計2,644人の参加がありました。

・3周年記念と関係者・シネマ会員の交流・親睦を目的に「アルテリオ・シネマ3周年記念パーティー」を開催しました。

### ④バリアフリー上映事業

・視覚及び聴覚障害者に映画を楽しんでいただくためにバリアフリー上映を11作品23回実施し、149人の利用がありました。

・保育付き上映にも積極的に取り組み、8作品14回実施し、17人の利用がありました。

#### ⑤ 共催・連携事業

・企画段階から構成メンバーとして参画するとともに、10月10日から17日までの開催期間も協働して運営を行うなど、「第16回 KAWSAKI しんゆり映画祭」を共催で開催しました

・コミュニティシネマセンターのシネマ・テーク・プロジェクトとアートシネマ・シンジケートに参加し、全国展開の企画協働上映（「ポルトガル映画祭」「イエローキッド」「海炭市叙景」「トスカーナの贋作」）を実施しました。

#### ⑥ アルテリオ・シネマ会員事業

引き続き、映画鑑賞サービスの一環として、会員価格等の特典のあるシネマ会員募集を行い、会員数の拡大に努めました。

（総会員数1,491人。平成23年3月31日現在）

#### ⑦ 広報・宣伝事業

・「アルテリオ・シネマニュース」を年11回発行しました。

（各回2~3万部）

・ホームページ、メールマガジンでの発信

・企画特集等のチラシ・ポスター、観賞の手引等を作成し、個別企画の情報提供と広報・宣伝を実施しました。

・地域商店・企業・映画館・しんゆり芸術のまちPR委員会等の協力で、PRボードへのポスター掲示、店舗でのチラシ配置を行いました。

#### ⑧ 映画・映像制作支援事業

・撮影支援として、館内外を問わずロケ現場としての活用を支援・促進しました。

・制作支援として編集室・録音室の利用促進に努めました。

#### ⑨ 映画・映像事業企画・作品選定委員会

・上映・企画の助言をいただく同委員会を6回開催しました。

#### ⑩ 貸館

・月曜日の休映期間に団体の利用が22回あり、計749人が来場しました。

## 2 受託施設管理運営事業

来館者及び出演者等の安全確保等、施設の適切な管理運営に努めました。特に、3月11日の東北太平洋沖大地震発生時には、映像館では通常上映を、小劇場では貸館公演を実施していましたが、当センタースタッフの適切な災害時対応により観客及び利用者を安全に誘導することができました。（利用状況は別紙3をご参照ください。）